



はんだ 市議会だより

議長に**渡邊昭司氏**、副議長に**鈴木幸彦氏**を選出
議会選出監査委員は**山本半治氏**
令和3年第4回臨時会にて就任



監査委員 (議会選出)
山本 半治



議長
渡邊 昭司



副議長
鈴木 幸彦

議長就任あいさつ

市民の皆様には日頃より、半田市議会に深いご理解とご協力を賜りありがとうございます。

この度は、令和3年第4回半田市議会臨時会におきまして、議長・副議長・監査委員の要職を務めさせていただくことになりました。

誠に身に余る光栄に感じますとともに、その職責を全力で全うしてまいります。

半田市議会は「半田市議会基本条例」に基づき、市民に対し、情報を積極的に発信し、議会の説明責任を果たしていかなければなりません。コロナ禍において、直接的な対話は難しいかもしれませんが、議会報告会のユーチューブ配信、ツイッター、フェイスブックの開始など、今だからこそできる、情報発信をさらに進めてまいりますとともに、議会におけるICT化、本会議場のインターネット中継、オンライン委員会の開催などに向け、議会内で協議してまいります。

「市議会だより」につきましても、市民の皆様から親しみを持っていただけるような記事を掲載できるよう、検討してまいります。

また、コロナ禍であればこそ、限りある財源の中で、事業の選択と集中は特に重要になります。

これまで以上に議会内での活発な議員間議論を行い、議会として、半田市に要望することがあれば、積極的に行ってまいります。

結びに、市民の皆様には半田市議会への更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念し、就任のご挨拶とさせていただきます。



議長就任挨拶
(YouTube)

審議結果 令和3年第3回臨時会(4月13日)
 () 内は議案の補足説明です。

■ 全会一致の案件

議案番号等	議案名
議案32	令和3年度半田市一般会計補正予算第1号 (総務：市議会議員補欠選挙の実施、 文教：子育て世帯生活支援特別給付金を支給する・新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施)
議案33	令和3年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第1号 (傷病手当の交付適用期限が延長されたことに伴い国と同様に延長するもの)
議案34	半田市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について (母子・父子家庭医療費制度が所得制限について準用する児童扶養手当において、支給制限を行う所得の範囲について非課税所得である障害基礎年金等を含めることとする改正に伴い愛知県と同様に条例の一部を改正するもの)
議案35	半田市国民健康保険条例の一部改正について (新型インフルエンザ等対策特別措置法等の改正により、条例の一部を改正するもの)

■ その他の案件

議案番号等	議案名
報告2	専決処分の報告について (道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定)
承認1	専決処分の承認について (半田市市税条例等の一部改正)



本議案の主旨には賛成ですが、市民の中に分断を持ち込むのでは無く、全市民を対象とした支援策を検討して貰いたいと考えます。ワクチン接種事業は、常滑市のような高齢者への交通手段の助成が必要だと考えます。
 議案33号の主旨に賛成ですが、対象が被用者に限られている事は問題だと考えます。

議案32・33号に賛成

賛成討論

鈴木健一議員

審議結果 令和3年第4回臨時会(5月13日・14日)
 () 内は議案の補足説明です。

■ 全会一致の案件

議案番号等	議案名
議案36	令和3年度半田市一般会計補正予算第2号 (新型コロナウイルスワクチン接種事業において電話対応等事務従事者の増員をするものなど)
議案37	令和3年度半田市水道事業会計補正予算第1号 (愛知県が主体となって実施するJR武豊線高架化関連工事の進捗に伴い、給配水管の移設工事を実施するもの)
議案38	令和3年度半田市下水道事業会計補正予算第1号 (愛知県が主体となって実施するJR武豊線高架化関連工事の進捗に伴い、汚水管の移設工事を実施するもの)

議案39	半田市監査委員の選任について
	常任委員会委員の選任について
	議会運営委員会委員の選任について
	政治倫理審査会委員の選任について

■その他の案件

議案番号等	議案名
報告3	専決処分の報告について（除草作業中の事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告4	半田市土地開発公社の経営状況について
	常任委員会の中間報告について（総務委員会の活動報告、建設産業委員会の活動報告 ※内容は6ページに掲載）
	特別委員会の報告について（広域行政調査特別委員会、南吉を活かしたまちづくり調査特別委員会※内容は7ページに掲載）

■選挙結果について

選挙名等	選挙結果
議長選挙について	【選挙方法】投票、投票総数20票 渡邊 昭司（15票）、中川 健一（5票）
副議長選挙について	【選挙方法】投票、投票総数20票 鈴木 幸彦（14票）、加藤 美幸（5票）、澤田 勝（1票）
中部知多衛生組合議会議員選挙について	【選挙方法】指名推選 水野 尚美、鈴木 幸彦、山田 清一、澤田 勝、渡邊 昭司
知多中部広域事務組合議会議員選挙について	【選挙方法】指名推選 新美 保博、小栗 佳仁、鈴木 幸彦、沢田 清、渡邊 昭司 石川 英之
半田常滑看護専門学校管理組合議会議員選挙について	【選挙方法】指名推選 竹内 功治、鈴木 幸彦、加藤 美幸、渡邊 昭司
知多南部広域環境組合議会議員選挙について	【選挙方法】指名推選 坂井 美穂、中川 健一、渡邊 昭司



5月臨時会の様子

常任委員会の構成 令和3年第4回臨時会（5月14日）において選任

※6月6日に行われた半田市議会議員補欠選挙により新たに加わった議員です。

総務委員会

主な所管


総務・企画
財政・防災
市立半田病院

							委員	副委員長	委員長	◇総務委員会（8人）
										
國弘 秀之 ※	石川 英之	渡邊 昭司	伊藤 正興	鈴木 健一	小出 義一	芳金 秀展	山田 清一			

文教厚生委員会

主な所管

福祉・教育
健康・子育て支援



							委員	副委員長	委員長	◇文教厚生委員会（7人）
										
岩田 玲子	澤田 勝	鈴木 幸彦	小栗 佳仁	嶋崎 昌弘	坂井 美穂	加藤 美幸				

建設産業委員会

主な所管

建設・環境
経済・観光
上下水道



							委員	副委員長	委員長	◇建設産業委員会（7人）
										
中村 和也 ※	山本 半治	水野 尚美	竹内 功治	新美 保博	中川 健一	沢田 清				

(令和3年6月9日現在 氏名は議席番号順に掲載)

各種委員会の構成

議会運営委員会（7人）

- 委員長 竹内 功治
- 副委員長 芳金 秀展
- 委員 嶋崎 昌弘／小出 義一
- 坂井 美穂／中川 健一
- 石川 英之

政治倫理審査会（7人）

- 委員長 澤田 勝
- 副委員長 加藤 美幸
- 委員 新美 保博／小出 義一
- 竹内 功治／坂井 美穂
- 沢田 清

政務活動費管理委員会（7人）

- 委員長 澤田 勝
- 副委員長 山田 清一
- 委員 嶋崎 昌弘／小栗 佳仁
- 加藤 美幸／沢田 清
- 石川 英之

政策調査研究プロジェクト（6人）

- 座長 中川 健一
- 委員 嶋崎 昌弘／小出 義一
- 坂井 美穂／加藤 美幸
- 澤田 勝



半田市議会では、市民の皆様への情報発信を強化するために「広報」「広聴」「交流企画」の3つの委員会を編成しています。三役を除く全議員がいずれかに所属し、さらに「開かれた議会」を目指してまいります。

広報委員会（6人）

- 市議会だよりの編集に関わる業務
- 委員長 小出 義一
- 副委員長 鈴木 健一
- 委員 嶋崎 昌弘／山田 清一
- 中川 健一／澤田 勝

広聴委員会（6人）

- 議会報告会の運営に関わる業務
- 委員長 小栗 佳仁
- 副委員長 水野 尚美
- 委員 竹内 功治／沢田 清
- 岩田 玲子／國弘 秀之

交流企画委員会（7人）

- 議場での市民交流を企画する業務
- 委員長 石川 英之
- 副委員長 芳金 秀展
- 委員 新美 保博／伊藤 正興
- 坂井 美穂／加藤 美幸
- 中村 和也

（令和3年6月9日現在
氏名は議席番号順に掲載）

半田市選出各組合議会

中部知多衛生組合議会

- 構成市町 半田市・常滑市・武豊町
- 水野 尚美／鈴木 幸彦
- 山田 清一／澤田 勝
- 渡邊 昭司

知多中部広域事務組合議会

- 構成市町 半田市・東浦町
- 阿久比町・武豊町
- 新美 保博／小栗 佳仁
- 鈴木 幸彦／沢田 清
- 渡邊 昭司／石川 英之

半田常滑看護専門学校管理組合議会

- 構成市町 半田市・常滑市
- 竹内 功治／鈴木 幸彦
- 加藤 美幸／渡邊 昭司

知多南部広域環境組合議会

- 構成市町 半田市・常滑市
- 南知多町・美浜町・武豊町
- 坂井 美穂／中川 健一
- 渡邊 昭司

令和3年度議会選出各種委員等

衣浦港整備促進期成同盟会

- 委員 沢田 清／渡邊 昭司

半田市都市計画審議会

- 委員 新美 保博／小栗 佳仁
- 芳金 秀展／坂井 美穂
- 中川 健一

阿久比川水系改修期成同盟会

- 委員 鈴木 幸彦／山田 清一
- 中川 健一／沢田 清
- 渡邊 昭司

知多地区道路整備促進期成同盟会

- 委員 渡邊 昭司

衣浦大橋整備促進期成同盟会

- 委員 渡邊 昭司

半田連続立体交差事業促進期成同盟会

- 顧問 渡邊 昭司

矢作川境川流域下水道推進協議会

- 委員 渡邊 昭司

半田市青少年問題協議会

- 委員 竹内 功治

半田市地域公共交通会議

- 委員 伊藤 正興

（令和3年6月1日現在
氏名は議席番号順に掲載）



総務委員会 活動報告 (要旨)

調査テーマ

「新しい市民協働のあり方について」

半田市では第6次総合計画において、市政の柱に市民協働を据えて「半田市市民協働推進計画～みんなでいっしょに大作戦～」を策定し、市民、企業、NPO等の団体と行政による協働のまちづくりを進めてきました。

現在、市内で42の自治区が地域住民の力を合わせて支えあうまちづくりに取り組んでいます。核家族化が進み旧来の地縁が薄くなり、若い世代は子どもを中心とした繋がりに変化しています。また自治区は役員のみならず不足のため、組織の存続が危惧されています。そこで地縁組織である自治区を残したまま、各地域で活動する各種団体が協力、連携し、特性を生かせる体制を整えることで、自治区の

負担軽減や地域活動の活性化、新たな担い手の創出等の課題の解決になるのではないかと考え、どのような組織であれば持続可能なまちづくりに適しているかについて、調査・研究を行いました。

本来なら先進自治体を視察しますがコロナ禍でそれは望めないため、兵庫県明石市と岐阜県関市は文書による照会、兵庫県朝来市はリモート視察を実施して先進の取組みを学びました。その後、委員会で議論を重ねた結果、地域で抱えている課題を解決するためには、小学校区単位のまちづくりを進めていくことが重要と考えて、次の内容を市へ要望します。

- ・自治区を中心に進めてきたまちづくりを見直す必要性と、その効果も市民へ丁寧に説明し、新たな組織づくりを進めていくこと。
- ・行政、市民の双方がまちづくりにおける「市民協働」を、正しく

理解する機会を設けること。

- ・まちづくりの組織は、自治区などの地縁組織の他、小学校、PTA、老人クラブ、NPOなど、小学校区内の各種団体が連携して設立できるよう、市は支援すること。また団体に関係なく、地域活動に関心のある個人も参加しやすい仕組みをつくること。

- ・新たなまちづくり組織が自立的かつ中長期的な運営を目指し、「まちづくり計画書」を策定する場合、市は人と費用の両面で十分な支援を行うこと。また先進地の事例も紹介するなど、実践に向けての支援も行うこと。

市民が、まちづくりにおける「協働」に理解かつ納得して参画できるよう時間をかけて丁寧な説明を行い、市民と行政が力を合わせて協働のまちづくりを進めて頂くことを願い、調査の報告とします。

建設産業委員会 活動報告 (要旨)

調査テーマ

「JR半田駅周辺の賑わいのあるまちづくりについて」

半田市は、名鉄知多半田駅からJR半田駅を中心とする中心市街地が、魅力と賑わいにあふれるまちとなることを目指しています。

しかし、現状では、知多半田駅前エリアと蔵のまちエリアは、鉄道により分断され、目指すべき都市像とは乖離していると考えます。

現在半田市では、JR半田駅付近連続立体交差事業が進められており、高架化による交通渋滞の緩和や、交通の円滑化、地域分断の解消など、市街地の一体化が推進されます。高架下について、半田市は、JRから一定程度有償で借り受けることとなっており、これから協議していく事となっております。

借り受ける区域は、

借地料に見合った収益が見込めるよう、慎重に協議しなければいけません。賑わいのある中心市街地とするには、高架下の活用は不可欠であり、鉄道高架に併せて、スペースを活かしたまちづくりを考えていく事が必要であると考えました。

そこで、高架下スペースの有効活用で成功を収めている、名鉄瀬戸線高架下施設である「SAKUMACHI-H商店街」と、JR東日本中央線鉄道高架下施設である「nonowa」を調査・研究してまいりました。

その後、委員会での議論を経て、以下のよう

に提言いたします。

JR半田駅周辺のまちづくりについて

- 一、新しい駅には、鉄道遺産や新美南吉などの半田らしい魅力をちりばめて下さい。
- 一、市民がプロデューサー、市民がプロデューサー、思いのある駅前にして下さい。
- 一、賑わいを創出する

ため、イベントスペース等、若者たちが気軽に集い、住みやすい環境を整備して下さい。

JR半田駅周辺のまちづくりにおけるJR武豊線高架下の利用について

- 一、デザイン力・リサーチ力・プロデューサー力のある、民間事業者を活用して下さい。

- 一、民間の部分に関しては、土地・建物等、自由に設計・活用できるエリアを設定して下さい。

- 一、長く半田市で事業を営むことができる企業を誘致して下さい。

- 一、公共の部分に関しては、市民ニーズの高い施設を配置するとともに、市民に愛される憩いの場となる空間を創出して下さい。

鉄道高架下利用は、慎重に検討・協議したうえで、必要性を踏まえ、総合的に判断して頂き、賑わいのある地域の人に愛されるまちとなることを願います。

中間報告とします。

広域行政調査
特別委員会活動報告
(要旨)

調査テーマ

「広域行政と合併のメリット・デメリットの調査について」

当特別委員会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で十分な調査ができず、委員会における意見を集約するところまでは至りませんでした。そこで委員の意見を紹介し、広域行政調査特別委員会の報告とします。

【1】「中核市を目指すことについて」は、

一、中核市となることで、福祉、保健衛生、環境、都市計画など市で実施できる事務が大幅に拡大し市民サービスの向上が期待できる。
一、特に新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下において、半田市独自の保健所を持つことは感染症対策として大きなメリットがある。
一、中核市になること

で増加する行政事務に対する財源については、国から補填される。

一、今期はやむを得ず調査不足となったが、中核市を目指すことは非常に重要な課題であるので、来期も継続して調査することが必要である。

【2】西尾市と幡豆3

町の視察を踏まえた「市町合併」について
一、合併により、人件費の削減は進んだが、公共施設の削減は思うように進まなかった。

一、合併のように大きな政治判断が必要な事業は行政任せでは進まない。
一、市民が不便を感じずに合併することが成功の秘訣である。

一、半田市の近隣市町は観光資源が豊富であるため、合併した場合は視察先の西尾市と同様に観光分野での魅力の高まりが期待できる。
一、合併は究極の行政改革である。
一、西尾市は、合併す

るなら「この組み合わせしかない」という状況で、スムーズに合併することができたが、その様な組み合わせのない半田市が合併を目指す場合には、合併の相手にメリットを十分に示す必要がある。

【3】「一部事務組合

のメリット・デメリットについて」は、
一、多くの事務について広域的に事務を行った方がスケールメリットを得られ、人件費、施設維持費・運営費等で費用削減が図られていることが分かった。

一、組合議会議員は、各市議会の代表として組合議会に出席しているため、実質的に一議員としての選択ができないことに問題がある。
一、広域行政が多岐に渡っている現状に鑑みると、4つある一部事務組合の整理統合よりも、市町合併で行政改革を実行することの方が意味があり、合理的ではないか。

南吉を活かしたまちづくり
調査特別委員会活動報告
(要旨)

調査テーマ

「南吉を活かしたまちづくり」

新美南吉は、生誕100年、没後70年が過ぎた今も、高く評価され愛され続けています。今日の様に評価されるようになったのは、没後の顕彰活動のおかげです。また、30年前に始まった彼岸花の保全活動も、市民の善意話の世界を描けるまでになりました。この南吉の文学顕彰と彼岸花の保全活動を受け継ぎ、まちづくりに活かす必要があります。

課題を整理すると、記念館へは、毎年5万人以上の来館があるうち、80%以上が知多半島外です。市内からの来館は、10%程度です。また、新美南吉童話賞は、2020年度で32回を迎え毎回2千編近く応募があります。この童話賞でも、市民か

らの応募数は1割程度です。

次に、学校教育では、南吉の「ごんぎつね」は、小学4年生の国語の全検定教科書に採用されています。必ず南吉と出会うのはこの機会のみです。また、市内の小中学生が記念館を訪れる機会を設けていません。

朝読など読書の機会や、「集団読書テキスト」を活用した南吉学習や「新美南吉読書感想画コンクール」などは、授業での取組みは任意とのことでした。

新美南吉が遺したもう一つの財産、彼岸花の保全活動は、活動の中心を担う方の世代交代が進んでおらず、活動の継続が危ぶまれる状況です。

新美南吉は、全国的に高い評価を得ていますが、半田市では、作品に親しむ機会づくりが充分できていません。そこで、以下の提言を行いました。
一、学校教育において

は、「市内全ての小中学生の南吉記念館への訪問」・「集団読書テキストの更なる活用」・「教育担当者への南吉研修の実施」など、南吉と出会う機会を設けて下さい。

一、南吉童話を題材にして、ブックスタート時の絵本プレゼント、幼児期の読み聞かせ、朗読会などを実施する。

一、街角で南吉作品に出会えるよう、JR半田駅前土地区画整理事業の折や市内ゆかりの地にモニメント等の設置を計画して下さい。

一、矢勝川の彼岸花保全活動を確実に継続するために、奉仕活動に依存しない仕組みを作ってください。

一、南吉関連事業においては、あらゆる世代が南吉に親しめるように、教育部は全庁的な取組みに発展するよう一層の連携を図り、計画的に実施して下さい。



新しく議員になりました！

6月6日に行われた半田市議会議員補欠選挙において当選した議員を紹介します。



國弘 秀之
くにひろ ひでゆき

[住所] 半田市雁宿町

[所属会派] チャレンジ
はんだ



中村 和也
なかむら かずや

[住所] 半田市瑞穂町

[所属会派] 志民ネット

半田市議会 SNS 公式アカウントを開設しました

半田市議会では、委員会等の予定や議会で開催するイベントをお知らせするために Twitter 及び Facebook アカウントを開設しました。ぜひ登録をお願いします。

半田市議会 公式 Twitter アカウント



半田市議会 公式 Facebook アカウント



9月定例会の予定

8月31日(火)から 9月29日(水)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します

あとがき

コロナ禍で様々な制約があり、議会も創意工夫をして諸活動を進めています。

開催を見合わせていた議会報告会は、ユーチューブで代替えさせて頂いています。また、5月からは、ツイッターとフェイスブックアカウントを開設し、タイムリーな情報提供に努めてまいります。是非アクセスをお願いします。

議会だよりも、伝わりやすい紙面を目指し改善に取り組んでまいります。お気づきの点を、お聞かせ下さるようお願いいたします。

広報委員会

- 委員長 小出 義一
- 副委員長 鈴木 健一
- 委員 嶋崎 昌弘 / 山田 清一
- 委員 中川 健一 / 澤田 勝

編集・発行 半田市議会

〒475-8666

半田市東洋町2-1

TEL 0569-84-0694

FAX 0569-24-7185

E-mail: giji@city.handa.lg.jp



QRコードは個人登録商標です。

半田市議会へ



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。